

報道関係各位

2010年2月15日  
オープンソースカンファレンス実行委員会

2010年は「オープンソースと政府・自治体」が主要なテーマ  
関係者が一堂に会する「OSC .Government」を開催  
～ 開催通算 50 回を迎え、全国 13 会場で開催 ～

オープンソースカンファレンス実行委員会は、「オープンソースと政府・自治体」をテーマに、全国 13 会場で『オープンソースカンファレンス』（以下、OSC）を開催いたします。

また、政府・自治体によるオープンソースソフトウェア（以下、OSS）活用について議論する専門カンファレンス「オープンソースカンファレンス .Government」（OSC .Government・仮称）を開催いたします。

OSC は、2004 年 9 月の第 1 回開催以来、北海道から沖縄まで全国各地での開催を重ねて参りました。2009 年には 1 年間で全国 12 会場、約 6,400 名が参加するオープンソース・イベントです。

2010 年は、全国 13 会場での開催を計画しており、秋に開催が予定されている東京会場での開催で第 50 回を迎えます。また、新たに神戸（3 月 13 日）、香川（11 月を予定）での初開催を予定しております。

2010 年の年間テーマは「オープンソースと政府・自治体」となります。IT コストの削減は特に自治体においても急務の課題であり、OSS を活用して IT コスト削減に取り組み始めた事例も出てきております。しかし、ライセンスや技術サポート、技術者教育、情報やソフトウェアの共有方法、オープンな標準への対応など、課題も多いのが実状です。

これらの課題に対応するため、OSC 実行委員会では開催各地域の自治体との連携による OSC の開催、そして関係者が一堂に会し議論する場として 2010 年下半期に「OSC.Government」の開催を計画しております。

「OSC.Government」開催に向けて、新たな実行委員会の編成と、政府・自治体における OSS 導入推進を行う担当者が情報交換を行えるコミュニティ作りを行います。

実行委員会のメンバーは近日中に発表予定です。

また、コミュニティ・メーリングリストへの参加は、本日より受付を開始いたします。

## 【オープンソースカンファレンスについて】

オープンソースカンファレンスは、ボランティアなオープンソースコミュニティおよび個人、企業、行政機関、団体による実行委員会により、以下を目的に入場料無料で開催されています。

- ・オープンソースコミュニティの『活動成果』の発表の場を提供
- ・開発者とユーザーの『出会いの場』の提供
- ・ビジネスチャンスの創出
- ・企業・コミュニティ・その他グループの緩やかな連動
- ・OSSの今後をよりよくしていくための試みを考える

また、これまでの開催のテーマは、以下の通りです。

- ・ボランティアに活動するオープンソースソフトウェアコミュニティと、OSSビジネスを行う企業の融合を図る
- ・日本全国のIT技術者に対する支援を行う
- ・IT技術者を目指す学生に対する啓蒙活動を行い、学習意欲を促進する

2009年 年間参加団体（コミュニティ）数：延べ約400団体

- ・オープンソースカンファレンス開催情報

<http://www.ospn.jp/>

- ・「オープンソースと政府・自治体」コミュニティメーリングリストへの参加

<http://list.ospn.jp/mailman/listinfo/oss-gov>

【2010年 年間開催予定】12都市・13会場

大分	1月23日	参加者数：約150名	大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」
東京春	2月26,27日	明星大学 日野キャンパス	
神戸	3月13日	神戸市産業振興センター	
仙台	5月22日	会場調整中	
北海道	6月26日	札幌市産業振興センター	
関西	7月9,10日	京都コンピュータ学院	
名古屋	8月	会場調整中	
東京秋	9月上旬	会場調整中・OSC .Govの併催を検討中	
沖縄	10月上旬	会場調整中	
新潟	10月下旬	会場調整中	
香川	11月上旬	会場調整中	
島根	11月27日	松江テルサ	
福岡	12月上旬	福岡工業大学	

2010年2月12日現在

開催日程および会場は変更される場合があります

【2009年 年間実績】11都市・12会場・約6,400名

仙台	1月24日	参加者数：約280名	東北電子専門学校(JC-21)
東京春	2月20,21日	参加者数：約730名,720名	日本電子専門学校
大分	3月13,14日	参加者数：約85名,55名	ソフトパーク
島根	5月16日	参加者数：約250名	松江テルサ
北海道	6月20日	参加者数：約370名	札幌市産業振興センター
関西	7月10,11日	参加者数：約600名,500名	京都コンピュータ学院 京都駅前校
新潟	8月1日	参加者数：約130名	新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス
名古屋	8月22日	参加者数：約400名	名古屋市立大学 山の畑キャンパス
沖縄	9月26日	参加者数：約170名	沖縄コンベンションセンター
東京秋	10月30,31日	参加者数：約800名,800名	日本工学院専門学校 蒲田キャンパス
高知	11月14日	参加者数：約90名	高知市文化プラザかるぼーと
福岡	12月5日	参加者数：約430名	九州産業大学

【2008年 年間実績】9都市・11会場・約6,000名

【2007年 年間実績】7都市・8会場・約4,800名

【2006年 年間実績】4都市・6会場・約2,900名

【2005年 年間実績】3都市・4会場・約2,400名

【2004年 年間実績】1都市・1会場・約500名

## 【オープンソースカンファレンス協賛企業各社からのエンドースメント（50音順）】

### 株式会社 NTTPC コミュニケーションズからのエンドースメント

株式会社 NTTPC コミュニケーションズでは 2009 年より、WebARENA ホスティングサービスを通じてオープンソースソフトウェアコミュニティを支援する活動を行っております。

2010 年はオープンソースカンファレンスの通算開催回数 50 回目を迎えられることとお慶び申し上げます。

オープンソースカンファレンスは、開発者、ユーザを含め、オープンソース業界の生の声を伺える交流の場として、重要なイベントと認識しております。

株式会社 NTTPC コミュニケーションズは OSC2010 のテーマに賛同するとともに、今後もオープンソースコミュニティ活動の更なる発展に協力して参ります。

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ  
ネットワーク事業部データセンタ営業部  
部長 伊藤琢巳

### SRA OSS, Inc. 日本支社からのエンドースメント

SRA OSS, Inc. 日本支社は、オープンソースの普及と発展を目指しワールドワイドな OSS ベンダーを目指して活動しています。特に OSS のデータベースの PostgreSQL は長年の経験をもとに、サポート、プロダクト、販売、コンサルティング、トレーニング事業など幅広く展開しています。

OSC には、OSS に企業として関わる立場から開催当初から協賛させていただき、現在は年間協賛をさせていただいています。OSC では、OSS のユーザ、コミュニティと広く触れ合える機会でありビジネスで OSS にかかわる立場からも重要な位置づけとなっています。

開催 50 回を迎え、今後も新たな OSC の活動に微力ながら協力させていただきたく所存です。

SRA OSS, Inc. 日本支社  
取締役支社長 石井達夫 様

### 日本 AMD 株式会社からのエンドースメント

日本 AMD 株式会社（AMD）は 2010 年度もオープンソースカンファレンスの活動を支援、支持して参ります。AMD は CPU およびグラフィックスの最新テクノロジーを提供し続けていきますが、これらのテクノロジーを有効活用するためにはオープンソースは不可欠であり、オープンソースコミュニティ活動のさらなる活性化に期待しています。

日本 AMD 株式会社  
マーケティング&ビジネス開発本部  
本部長 林淳二様

コーポレートサイト：<http://www.amd.co.jp>  
開発者向けサイト：<http://developer.amd.com/>

#### 日本ヒューレット・パッカード株式会社からのエンドースメント

日本ヒューレット・パッカード株式会社では、グローバルにおいても日本においてもオープンソース普及に向けた支援をしてまいりました。その活動の一環として、「オープンソースカンファレンス」を初期より、後援させていただいております。

クラウド時代の自治体・企業の IT 環境において、オープンソースは欠かすことのできないテクノロジーです。

そのオープンソースにおける日本の活動をリードするオープンソースカンファレンスが、今後ともコミュニケーションの場として、そして新たなイノベーションを創生する場として、ますますの発展を遂げることを期待しております。

日本ヒューレット・パッカード株式会社  
エンタープライズストレージ・サーバー・ネットワーク事業統括  
インフラストラクチャーソフトウェア・ブレード事業本部  
事業本部長 正田三四郎 様

#### ノベル株式会社からのエンドースメント

ノベル株式会社は 3 年ほど前から OSC に協賛し、セミナーやブースで弊社の Linux ディストリビューション、SUSE Linux Enterprise を紹介させていただいている他、2 年ほど前からは openSUSE ユーザ会の OSC 参加のサポートもしています。

OSC はベンダーからの一方的な製品の紹介にとどまらず、全国に渡ってオープンソースを利用される方々と交流し、ご意見をいただける貴重な場として考えております。

OSC の 2010 年の活動方針に賛同し、オープンソースが活用される場がさらに広がっていくことを喜ばしく思い、また今後も積極的に協力させていただく所存であります。

ノベル株式会社

#### 株式会社野村総合研究所からのエンドースメント

株式会社 野村総合研究所 (NRI) は、オープンソースカンファレンスの 2010 年度活動方針を支持します。NRI は、オープンソース・ワンストップサービス OpenStandia (オープンスタンディア) の中で、Tomcat、JBoss、MySQL、PostgreSQL など約 50 種類のオープンソースに対して、企業情報システムへの導入支援を行っております。NRI はこれらの活動を通じて、オープンソースカンファレンスと共にオープンソースの普及・発展を推進いたします。

株式会社野村総合研究所  
オープンソースソリューション推進室  
OpenStandia 事業責任者 寺田雄一 様

オープンソース・ワンストップサービス OpenStandia : <http://openstandia.jp/>

#### 株式会社日立製作所からのエンドースメント

オープンソースカンファレンスの 2010 年間テーマ「オープンソースと政府・自治体」を歓迎します。

日立はこれまでもオープンソースビジネスに取り組んでおり、オープンソースカンファレンスへ積極的に関わることでオープンソースコミュニティとも関わっております。

オープンソース・ソフトウェアの利用がより一層加速されることを期待するとともに、今後もオープンソースカンファレンスの幅広い活動を支援していきます。

株式会社日立製作所  
プラットフォームソリューション事業部  
OSS ソリューションセンタ長 田所尚 様

#### マイクロソフト株式会社からのエンドースメント

マイクロソフトは、より多くの IT エンジニアが魅力的なソフトウェア ソリューションを構築するために必要な基盤テクノロジーの提供を通じて、今日の複雑な IT 環境における顧客およびパートナーの成功を支援しています。そこでは、オープンソースソフトウェアに関わる IT エンジニアの皆様との協力は必要不可欠なものと考えています。

2006 年からは 'Power to the Pro' と題して、IT エンジニアの皆様の支援活動を多岐にわたり継続しています。技術情報の提供のような一方通行の活動に加えて、IT エンジニアのみなさんと企業や組織の枠を超えた双方向のコミュニケーションによる情報発信やコミュニティ活動への協力についても包括的に実施しており、この実践の一つとしてオープンソースカンファレンスへの協賛、参画をさせていただいています。

マイクロソフト株式会社  
プラットフォーム戦略本部 吉川顕太郎 様

### 【オープンソースカンファレンス後援各団体からのエンドースメント (50 音順)】

#### 一般社団法人 Mozilla Japan からのエンドースメント

記念すべき 50 回目の開催を迎える今年、オープンソースカンファレンス(OSC)が「OSC.Government」として政府・自治体での利用を視野に入れて開催されることは、このイベントが、「OSS コミュニティ同士の情報交換の場」から「OSS を提供する側と利用する側を繋ぐ場」へ変化し、更に時代のニーズに合ったイベント作りに尽力されているものだと感じています。開催当初からこの 5 年の間に、OSS コミュニティと地方が一体となってこのイベントを育ててこられたことに敬意を表すとともに、Mozilla Japan としても、OSS の普及のために、OSC を一緒に盛り上げていきたいと思っております。

一般社団法人 Mozilla Japan  
代表理事 瀧田佐登子 様

#### World Wide web Consortium (W3C) からのエンドースメント

W3C でも e-Gov 関係活動があり、ぜひ、日本での論議に根ざした国際標準化への発信も視野に活動活性化をお願いいたします。W3C も微力ながら、支援してゆきたいと思っています。

World Wide web Consortium (W3C)  
W3C/Keio Site Manger  
慶應義塾大学 教授 工学博士 一色正男 様

#### オープンソースビジネス推進協議会からのエンドースメント

オープンソースカンファレンスの通算開催 50 回を心より歓迎致します。今まで何度も参加させていただきましたが、常に OSC は、コミュニティを中心とする実行委員会の皆様、そして参加者の皆様の熱いオープンソースへの想いを肌で感じる事ができる場でした。これからも OSC の活躍に期待致します。

オープンソースビジネス推進協議会  
理事長 石井達夫 様

オープンソースビジネス推進協議会公式サイト : <http://www.obci.jp/>

日本 Linux 協会からのエンドースメント

OSC の今後の進展に期待しています。

日本 Linux 協会としては、地域のオープンソース活動を支援する観点から、積極的に協力したいと考えています。

日本 Linux 協会  
会長 鈴木大輔 様

日本 UNIX ユーザ会からのエンドースメント

日本 UNIX ユーザ会(jus)は 1999 年にオープンソースまつりを開催し、IT 系コミュニティが一堂に会するイベントの礎を築きました。その流れを汲み、大きく発展させたのがオープンソースカンファレンス(OSC)です。OSC の継続的な開催はオープンソースをはじめとする各種コミュニティの活性化を促し、その熱気は首都圏のみならず全国規模での飛躍的な高まりをみせています。皆さんも OSC に参加して、オープンソースへと加速する時代の流れと、コミュニティの熱気を感じてみてください。jus はこれからも OSC を後援するとともに、各地で開催される行事にも積極的に参加して盛り上げていきます。

日本 UNIX ユーザ会  
幹事 法林浩之 様

その他 OSC 参加コミュニティからのエンドースメントは別紙補足資料をご参照ください

本件に関するお問い合わせ先：オープンソースカンファレンス事務局

Tel: 03-5774-9461 (株式会社びぎねっとオフィス内)

mob: 080-3525-4533

e-mail: OSC2010@Begi.net